

## リスキリングを通じたキャリアアップ支援事業 六次公募

### 審査委員からの総評コメント

六次公募で受け付けた申請について、審査項目ごとに、審査委員からいただいた総評コメントを公開致します。

審査項目	コメント
ア. 提案内容において、ターゲット層の課題・ニーズ及び転職先の産業・企業の課題・ニーズが適切に把握されており、それらを繋ぐ一貫性のある取組内容（キャリア相談対応、リスキリング提供、転職支援）となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル業界等変革期にある業界への転職支援を行う際は、業界や市場について綿密に調査を行い、今後必要となる人材像を十分に理解した上で、必要となる人材像になるために相応しい教育プログラムを構築していることが望ましい。</li> <li>事業者の独自性や優位性をより意識して、既存の補助事業とは異なるターゲットやゴールを設定したリスキリングを提供するなど、特徴的な取組が提案書から分かりやすく読み取れることが望ましい。</li> </ul>
イ. 各プロセス（広報、キャリア相談対応、リスキリング提供、転職支援）で質を高めるための工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報については、計画している集客目標人数やターゲット層において想定されるレスポンス率を踏まえてどの程度の規模の活動が必要か分析されていることが望ましい。</li> <li>リスキリング提供に関しては、支援を受ける個人が在職中であるということを踏まえて、個人が休日や夜間に学び続けられるためのサポート体制や離脱防止の工夫が提案書から読み取れることが望ましい。</li> </ul>
ウ. 提案内容を実施するに当たって、実現性が高い実施体制、スケジュール、支出計画等になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア相談対応・転職支援においては、自社の従事者が転職先に関する業界知識や専門性を有さない場合、外部の専門家の活用も必要となるが、一体的な支援が提供できるよう内部においても一定程度の専門人材の採用・育成を通じた体制構築を目指した提案であることが望ましい。</li> <li>計上している経費の必要性が具体的に説明されているとともに、補助事業の成果目標に対する費用対効果を意識して経費が算出されていることが望ましい。既存サービスと比較して高価な経費や、経費全体に占める一部項目の割合が突出して高い場合は低い評価となる恐れがある。</li> </ul>
エ. 本事業により特に高い成果が期待できるか（社会に与えるインパクト、リスキリング講座やサービスの新規性・独創性、転職率、類似事業での実績、賃金引上げの度合い等）。	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的なニーズが大きい人材不足産業や成長産業への労働移動を意識した提案が行われることが望ましい。自社の既存事業を活用して本事業を実施する場合は、補助金の活用により、どの程度の労働移動が促進されるかを明確にした提案になっていることが望ましい。</li> <li>賃金の引上げ度合いが高く、社会に与えるインパクトの高い転職を実現するためには、座学による講座受講だけでなく、実践的な経験・スキルを積むことができるリスキリング講座が設計されていることが望ましい。</li> </ul>

※本総評コメントは、委員審査の中で、提案に当たって考慮されていることが望ましいとされたポイント、他の提案と差別化を図ることができる可能性があると考えられたポイント、低い評価となる恐れのあるポイントをまとめたものです。委員審査の内容は非公開であり、本コメントについてのご質問にはお答えすることはできませんので、ご了承ください。